

川崎医療生協

新年号



発行所 川崎医療生活協同組合 〒210-0804川崎市川崎区藤崎4-21-2 発行責任者 星野 俊平
定価 1部10円千60円 (購読代金は出資金に含まれています) TEL044 (270) 5881

川崎医療生協の現状	
—(11月末)—	
組合員	41,602人
出資金	1,578,675,000円
川崎医療生協では一世帯5万円以上の出資金をめざしています。	



満面の笑みで、キメのポーズも慣れたもの

仲間と健康麻雀

「賭けない 飲まない 吸わない」の健康麻雀を楽しんでいるのは、5年前にできた「観音健康麻雀班」。「ここに来れば誰かと話すことができる」「ここに来ないと、ついお酒を飲んじゃうから、この班は健康にもい



い」「麻雀は賭け事のように思われるけど、私たちはゲームを楽しんでいる感覚です。そのゲームも一人ではなくみんなで話しながら行うゲームなので、より楽しいです」と、参加者は魅力を話します。

班会は第3木曜日の午前9時から、川崎区藤崎にある「スターブル集会場」で行っています。参加費は1回50円。

体と頭を使う輪踊り

盆踊りのように輪になって踊る「輪踊り」を楽しんでいるのは「ロード班」です。1996年結成の班は今年で27年目を迎えます。「音楽に合わせて身体を動かしたり、振り付けを覚えたりして楽しみながら身体と脳のトレーニングにな



る」「年に2回ほど、みんなで外食をしてお話するのも楽しい」という声がかかります。班員7人の平均年齢は84・5歳、「続けることで健康でいられます」という声も。



振り付けをしっかりと覚えて輪になって

「誰かと話したい」「誰かと一緒に出かけた」と望んでいる人が多い表れではないでしょうか。わが家の中学3年生の子どもに「悩んだときに相談できる友だちはいる?」と聞いたときに「そんなのいないよ」と即答されたことにはびっくりしました。振り返れば、この世代は中学1年からマスクを強いられ、自宅学習の時期もあり、信頼できる友だちづくりができな世代なんだと改めて感じました。子どもの自殺が過去最多というニュースにも残念ながら納得してしまいます。

厳しい状況ですが、新聞「川崎医療生協」は、今年も人とひとを結ぶことも使命に紙面づくりを行っていきます。

編集長 城谷 創一

明るく楽しくフラダンス

毎週合同でフラダンスを楽しんでいるのは、「プルメリア班」と「プア・カーネーション班」です。参加者は、講師の松本節子さん(83歳)を入れて12人。踊っているときも休憩のときも、班員全員が笑顔で笑い声があふく、和気あふい

いとした雰囲気です。参加者には、「若い人から高齢の人まで参加ができ、踊りだけで癒やされる」と好評です。今年も活発な3つの班を例に活動について紹介します。

コロナに負けず

今年も

班会仲間と

つながりづくり
生きがいに
川崎医療生協の
活動のひとつ



「何を捨てたらいいかな?」「そうだねー」会話もはずむ。

他にもいろんな班が

今回紹介した班以外に280の班があります。浅田支部の「ばあばとじいじの手習い班」では習字を、住吉支部の「気功と太極拳班」はその名の通り太極拳を、溝ノ口支部の「いきいき班」は脳トレを楽しみ、麻生南支部の「なんじゃもんじゃ班」は植物を観察するするなど、様々な班が活動しています。

どんな班があるのか、参加するにはどうしたらいいのか、組合員でない人も興味のある人は、健康まちづくり推進部(電話044-266-17532)まで問い合せてください。

青い空

「人のつながり」が大切だと特にコロナ禍で感じます。川崎医療生協が2021年2月からほぼ毎月行っている無料の食糧配付では、医療・介護・福祉の相談も行い、対面で話を聞いています。困ったことを共有できるという点で、互いに大事な機会になっています。川崎医療生協のイベントや組合の班会も徐々に再開し、「待ってました」とばかりに多くの人が参加するようになりました。

あけましておめでとうございませす。

川崎医療生活協同組合 理事長 関川 泰隆

昨年は、大変な情勢の中で、多くの皆様に支えていただき、何とか乗り越えていくことができた。心より御礼申し上げます。

「コロナに負けない活動」

今年も、たくさん課題がありますが、コロナに振り回された3年間を総括し、新しい時代を切り開く一年にしたいと思います。

組合員の皆様には、感染リスクを避けながら、潤いのある生活と元気の出る医療生協活動を取り戻されることを期待します。それらを通じて、人のつながりを深めることのできる、健康で充実した、夢のある1年になるようお祈りいたします。

「持続可能な組織づくり」

法人全体では、新しい時代の健康ニーズに沿った川崎医療生協の確立を



感のある内容、利用しやすさ、快適さ、少ない負担で利用できることなどを重視して取り組みます。
リニューアールに向けて
施設のリニューア

2023年 1月1日

目指して、活動にとりくみます。医療・介護活動の充実、人材の確保と育成、管理運営のレベルアップ、組合員組織の飛躍的な拡大、施設のリニューアール、社会や医療のIT化への対応、法人内外の連携強化、ダイバーシティ（多様性）を尊重した運営など、重要な課題が山積しています。すべてに対して、タイムリーに対応して、持続可能な活動と組織づくりを進めていく必要があります。

「かかりつけ医としての生協」

とりわけ、組合員の皆様と事業所・職員とのつながりを深めることが、大切な課題です。医療・介護の事業では、医療生協の各事業所が、皆様の「かかりつけ」としての役割を果たしてゆけるようなとりくみを目指します。健康についてのあらゆる相談に乗れる、困ったときに頼りになる、信頼感のある内容、利用しやすさ、快適さ、少ない負担で利用できることなどを重視して取り組みます。

「平和・環境・人権」

また、地域・国のレベル、さらには地球規模でも、平和、環境、人権が危機に瀕する、様々な事態が進行しています。これについては昨年12月に、理事長名で2つの声明（下記参照）を出したところです。

医療福祉生協連の理念「健康をつくる、平和をつくる、いのち輝く社会をつくる」の実践にも、しっかりととりくんできてほしいと思います。

そのためには、職員、組合員、地域など、幅広い皆様の声に、ウサギのように耳をそばだて、ダッシュしジャンプする年にしてゆきたいと思えます。ぜひ率直なご意見とお力添えをお願いいたします。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

2023年 1月1日

せん。しかし、いたずらな軍拡論は、かえって国民を危険に晒すことになりかねません。日本が直ちになすべきは、軍事的脅威に対してより強い軍事力を持って制するという悪循環の論理を戒め、平和国家としての矜持をもって、憲法を生かした外交力を発揮することです。

私たち医療従事者は、健康と命を守ることを使命としています。

戦争は直接に多くの人の命を奪うだけでなく、人々の生活を破壊して健康を阻害する、最も大きな障害です。直接にも、間接にも、人々の健康や命を奪うことを合法化し、合理化するシステムである戦争を前提とした政策の一切を認めることはできません。

実際には戦争が行われていないとしても、軍事費を増やすために増税したり、福祉や医療を縮小したりすることも、国民の生活を抑圧し、健康への大きな障害となることをみすごしてはなりません。

岸田政権の軍事増強政策の危険性を、多くの国民と共有し、民の声によって、この重大局面を押し返し、平和で健康な国づくり、街づくりを進めてゆきましょう。

2022年12月8日

川崎医療生協 理事長 関川 泰隆

「声明1」

岸田内閣の軍拡路線に強く抗議し、憲法を守り、平和で健康な街づくりを進めよう。

12月8日81年目の太平洋戦争開戦の日に当たり、再び戦争の惨禍を起こさぬことをあらためて決意し、平和主義を基調とした日本国憲法の遵守を、広く国民全体に呼びかけます。

岸田内閣は、防衛費を5年で1.5倍の43兆円、GDP比2%まで増額するなどの軍拡路線を提唱しています。また、他国の基地に対する先制攻撃を「自衛の範囲」として正当化する発言を行い、自公のみならず、維新、国民などの一部野党もこれに迎合する動きを見せています。

これらは、憲法の平和原則、専守防衛の国是を蹂躪し、これまでの政府見解をも反故にする内容で、到底受け入れることはできません。とりわけ、先制攻撃容認論は、これを認めれば、軍拡や戦争拡大への歯止めを失ってしまう、極めて重大で危険な政策転換です。敵国に対する攻撃の口実を与えることにもなりかねません。また、事実上先制攻撃に他ならない「敵基地攻撃」を「反撃能力」などの呼び名で偽り、その実態を包み隠そうとする姿勢も、卑劣で不誠実と言わざるを得ません。

ウクライナやロシア、中国、北朝鮮などの動きの中で、軍事的脅威から国民を守ることは重大な使命であることは言うまでもありま



ホームページからも見ることが出来ます

「声明2」

「川崎市ぜん息患者医療費助成制度」廃止に反対し、方針の撤回を求めます。

回を求めます。住民の健康と生活を守る立場で、市長及び、議会を通じての、慎重なご検討のうえで、見直しをしていただくよう期待いたします。

※反対する理由など、詳細は下記のQRコードから法人ホームページで掲載しています。



詳細はこちらから

川崎市独自の施策である、ぜん息患者に対する医療費助成制度（成人ぜん息患者医療費助成制度、小児ぜん息患者医療費支給事業）の廃止を勧める、川崎市地域医療審議会の答申案が承認されたことが報じられています。

審議会の進め方についての異論もありますが、答申は重く受け止めています。しかし、以下の理由で、制度の廃止に強く反対し、撤



一般社団法人
メディホープかながわ
medihope kanagawa

新春を迎え
皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます

代表理事 佐久間誠

お薬や健康についてお気軽にご相談ください

- ・川崎すみれ薬局（協同ふじさきクリニックそば）
- ・そよかぜ薬局（川崎セツルメント診療所そば）
- ・川崎コスモス薬局（京町診療所そば）
- ・川崎薬局（川崎協同病院そば）
- ・大師薬局（大師診療所そば）
- ・くじら薬局（久地診療所そば）
- ・かりん（福祉用具/居宅介護支援）



くらし・社会



ロシア軍に破壊されたキーウでの救助 (2022年2月25日)

ロシアがウクライナに侵攻して、はや一年になろうとしています。これより以前から、ウクライナ東部、ドンバス地方の領有などをめぐり、両国の間には軋轢が生じていて、ロシアの侵攻にはその伏線があったことは事

禁じ得ません。昨年10月24日の国連人権高等弁務官事務所が発表によると、ロシアのウクライナに対する武力侵攻が始まった昨年2月24日から10月23日まで、ウクライナでは一般市民6374人が亡くな

り、9776人が負傷しました。死者のうちには368人の少年少女、34人の子どもが含まれています。そしていまも犠牲者は増え続けています。ひとりの人間の死がもたらす悲しみの大きさを考えると、いったいどれだけの深い悲しみが生まれたことか。しかし、事態が長引くどころか、ロシアにも慣れてしまっている。また、ニュースでは「プーチンの思惑は何か」や戦況の分析などが専門家によって語られることが目につき、私たちもとすると高みから戦況を眺めるような感覚になります。

さらには、侵攻の初期の段階で聞かれた第3国からの「停戦」の提案や、いったいどうしたら紛争を終結させられるのか、犠牲者を出さずに済むのかについての議論があま

感には「沸点」に近づけばいい。安全保障は、軍事と積極的な平和政策の両輪で成り立つはずですが、現状は前者に偏りすぎていてのではないのでしょうか。

とかく国益を前面に出し勇ましく正義論を振りかざす者は、えてして現場からは遠く自分は直接傷つくことがないことは、歴史が物語っています。どうしたらこれ以上犠牲者を出さずにすむか、わが国がまずはこの点について提案できるような動きに少しでも加担したいものです。(波)

コラム

時の風

「まずは停戦を」

実です。

しかし、首都近郊を含むむきよりの攻撃で他国を戦場とし、まったく無防備な一般市民の平和な日常を破壊し、子どもをはじめ多くの人間を殺害した事実には強い憤りを禁じ得ません。

その一方で、日本で活発になるのがこうした国際情勢を鑑みた防衛費の増額議論です。確かに、ロシアをはじめ真に民主

平和学(研究)を専門とする君島東彦・立命館大学教授は「侵略戦争を始めたロシアを敗北させなければ、ヨーロッパの平和秩序は回復できない、それまで停戦交渉はするべきではないという正義派の主張は1つの考え方として理解できます。ソ連の支配を経験したポーランドやバルト三国にとってはロシアの脅威は非常にリアルなもの

ら、神戸大学名誉教授の広木克行さんを招いて、川崎市教育文化会館で行われます。申し込みは、川崎市教育文化会館(電話044-233-6361)まで。川崎区在住・在勤・在学の人が優先で、先着50人。

分、最後は脳トレと運動を組み合わせました。当日参加者は18人、80歳以上が7人もいて、みなさんとも元気で「本日も参加して得をした」「またやりたい」との声を聞きました。支部では5月頃に再度企画をします。みなさんの参加を期待しています。



講演する木本晃子さん

川越不登校親の会、木本晃子さんが講演

「ぶれ〜ん 不登校を考える親の会」が、昨年12月3日、川崎市教育文化会館で、同会館の自主企画事業として学習講演会を開催しました。今回、第2回となる講演は、川越不登校親の会を主宰する木本晃子さんが講演しました。講演は、現在の不登校の実態から始まり、「不登校について知ってほしい10のこと」として以下の10点をあげました。

- ①不登校は本人にとつてこれ以上頑張れなくな
- ②不登校は本人にとつてこれ以上頑張れなくな
- ③不登校になる原因は本人にもわからないことがほとんど。
- ④昼夜逆転やスマホ、ゲームはその子にとって必要な時間、安心できる環境に置かれれば自分の力で変化していく。
- ⑤学校復帰を前提にしない。
- ⑥不登校

合同班会を開きました

日吉支部では班が少なく、また今ある班も開催できずに休眠状態です。

支部では休眠班を呼び覚ます「合同班会」を開こうと、小松厚志運動トレーナーを講師に招き、フレイル予防と運動についての講義を11月28日(幸区役所)日吉出張所で行いました。

フレイル予防に必要な栄養(口腔)、運動、社会参加の話を30分、椅子に座ってできる運動を90分、最後は脳トレと運動を組み合わせました。

日吉支部 大山春代

からだにやさしい料理 第46回

魚・海鮮を食べよう! ⑩

☆真鯛のフライ☆

川崎協同病院 栄養科調理師 荒久仁寛

- 【材料】(4人分)
- ・真鯛(80g程度の切り身).....4切れ
 - ・塩.....小さじ1
 - ・こしょう.....少々
 - ・卵(Mサイズ).....1個
 - ・薄力粉.....大さじ3
 - ・水.....大さじ1.5程度の適量
 - ・パン.....適量
 - ・揚げ油.....適量
 - ・レタス.....適量

- 【作り方】
- 1 真鯛に塩こしょうをする。
 - 2 卵と小麦粉をだまがでけないように混ぜ、バター液を作る。バター液を水で伸ばして真鯛に絡む程度の固さにする。
 - 3 真鯛をバター液に絡ませてから、パン粉をつける。
 - 4 170℃の油できつね色になるまで揚げる。
 - 5 レタスと一緒に盛りつける。

♥一口メモ: 真鯛をフライにするのはもったいない気がしますが、だまされたと思って一度作ってみてください。私は魚のフライの中で一番美味しいと思います。タルタルソースなども合います。

1人分 214kcal タンパク質19g 塩分1.4g



川崎医療生活協同組合 健康づくり委員会
健康川柳 かるた

43人の方から161句の「健康川柳」をお寄せいただきました。ありがとうございました。
 法人健康づくり委員会で厳選しました23句をご紹介します。

つ
 月はじめ
 ニューズ届けて
 歩をかせぐ
 高山富恵

す
 ストレッチ
 筋トレ励む
 明日の為
 千葉幹子

よ
 よく噛んで
 ゆっくり味わう
 満腹感
 みちおか

い
 一日の
 元気生み出す
 朝ごはん
 梅山すみ江

あ
 歩こうよ
 一歩が出れば
 二歩三歩
 みちおか

な
 長生きは
 健康でこそ
 楽しけり
 関節子

あ
 あいうべ体操
 毎日続けて
 風邪しらず
 〇沼

ね
 「寝たきり」
 よりもこわいのは
 「出たきり」よ
 マコちゃん

お
 お茶沸かす
 あいまいに筋トレ
 ストレッチ
 小野田裕子

す
 ストレスは
 健康の敵
 すぐ退治
 哲夫

か
 階段は
 ジムより身近
 無料だよ
 女子会乙女

ね
 年金は
 下降し
 血圧上昇し
 マコちゃん

う
 ウンチよし
 今日も元気だ
 飯うまし
 小林博

な
 長続きは
 三日坊主の
 くり返し
 草野みづ子

き
 今日も行く
 歩いて体操
 みんなの輪
 カールさん

ふ
 ふれあつて
 食べて笑つて
 ボケ寄らず
 小嶋和夫

け
 健診は
 日頃の努力の
 通信簿
 高山富恵

た
 退職後
 地域で生きいき
 お父さん
 小嶋和夫

む
 無理しない
 心に決めて
 散歩する
 高橋佳子

う
 薄味で
 舌が気づいた
 旬の味
 梅山すみ江

こ
 凝り性の
 趣味に没頭
 肩が凝り
 マコちゃん

ま
 町歩き
 ながめてさわつて
 再発見
 小林博

ひ
 独り身を
 孤立させない
 地域の輪
 梅山すみ江



川崎ぶらり文学日記

第95回

都築ヶ岡の文芸者編
『白洲次郎・正子と河上徹太郎』



川崎市北部は多摩丘陵と呼ばれる山坂地域ですが、今回紹介する河上徹太郎はこの丘陵を都築ヶ岡と呼称していました。今年には戦中戦後にこの地でさまざまな表現活動をしてきた文芸者たちにスポットを当ててみたいと思います。

白洲次郎・正子が鶴川村(現町田市)へ

兵庫県出身の白洲次郎は貿易事業で財を成した実業家でした。政界ともパイプがあり吉田茂元首相と面識を得るようになると近衛文磨のブレーンとして活躍し

ます。そんな折1940(昭和15)年に白洲次郎と妻正子は多摩郡鶴川村、現在の東京都町田市能ヶ谷町へ引っ越します。鶴川村は旧武蔵国と相模国の国境沿いの地域であり、自宅を武相荘と名付け、都市から程よく近い鶴川の地で「カントリー・ジェントルマン」な生活をしていました。現在この武相荘はカフェやレストランを備えた白洲次郎・正子の資料館になっています。

河上徹太郎が片平(現麻生区)へ

河上徹太郎は文芸・音楽



カフェやレストランを備えた白洲次郎・正子の資料館

の麻生区白鳥)へ引っ越します。こうして徹太郎も都会からそう遠くない片平で田舎生活をはじめます。

片平での生活風景

約2年間同居生活をしたのち、1947年に丘を一つ越えた川崎市片平(現在の

「仕事に育児これがわたしの二刀流」は、今年も大活躍した大谷翔平さんから生まれた「二刀流」を、自分の日常に置き換えています。「私だつて二刀流!」と奮闘する句に元気づけられます。5・7・5のリズムを大事にすれば、「二刀流わたしは仕事と育児です」ともいえます。

「隠し味効いてる母のお説教」は、「なるほど、そうかもね」と、思える意味深な句です。母のお説教には、味付けと同じように「言外の意味」という隠し味が効いていると読め、大人の味わいが感じられます。

評論家で、さまざまな文芸誌も創刊し評論活動を展開していました。1945年春頃、自宅の五反田が空襲に遭い、旧知の白洲次郎・正子の武相荘へ避難をすることになります。

ちなみに徹太郎と同居生活をしてきた頃の白洲次郎は、敗戦後吉田茂元首相の側近として、GHQ憲法案(現在の日本国憲法)の翻訳を担当しており、当時は鶴川から東京へ愛車のポルシェで出勤をしていました。

徹太郎は先に触れたようにさまざまなジャンルの著述がありますが、片平を題材にした随想も数多くあり、引用もその一つです。現在では猟銃は禁止されていますが、当時はまだ拓けていない都築ヶ岡で悠々自適な生活を送っていました。また都心から小田急線1本で最寄りの柿生駅に來られる気軽さから、井伏鱒二、久保田万次郎、石川淳、太宰治などの文人たちが徹太郎宅へ来遊していました。こうして徹太郎は1980年に亡くなるまで終生片平に住み着いたのでした。

「仕事に育児これがわたしの二刀流」は、今年も大活躍した大谷翔平さんから生まれた「二刀流」を、自分の日常に置き換えています。「私だつて二刀流!」と奮闘する句に元気づけられます。5・7・5のリズムを大事にすれば、「二刀流わたしは仕事と育児です」ともいえます。

「隠し味効いてる母のお説教」は、「なるほど、そうかもね」と、思える意味深な句です。母のお説教には、味付けと同じように「言外の意味」という隠し味が効いていると読め、大人の味わいが感じられます。

2022 川柳大賞

リモートの授業に祖父母が映り込む
川崎区 鈴木えむ(17)

仕事に育児これがわたしの二刀流
川崎区 酒井花奈子

隠し味効いてる母のお説教
高津区 梅山すみ江

今年も「みんなが川柳」に毎月たくさん応募をいただきました。あらためて川柳のポイントはなにかというと、ユーモア、風刺(皮肉)、時事性(タイムリグ)です。なにげないことを言い表わしているがおもしろく、かつしてしまつ、チクリと世の中のおかしなことや人をユーモアを交えて批判する、いま起きている事象に素早く反応して独自の視点でとらえる、こうした句が読者の心をとらえます。

「リモートの授業に祖父母が映り込む」の作者は17歳です。高津区で、川崎区、高津区、梅山すみ江

「仕事に育児これがわたしの二刀流」は、今年も大活躍した大谷翔平さんから生まれた「二刀流」を、自分の日常に置き換えています。「私だつて二刀流!」と奮闘する句に元気づけられます。5・7・5のリズムを大事にすれば、「二刀流わたしは仕事と育児です」ともいえます。

新春

大師寄席

川中島神明神社 事務所 林家正雀 落語

桂枝平 落語

初笑い

会場 京急川崎大師駅前 どりやく通り7分

2月5日(日) 午後2時開演

会費2000円 (70歳以上の方1000円)
問い合わせ(吉田): 044-288-4405

マスク着用、三密対策にご協力をお願いします。

生命科学の歴史 人間の過去・現在・未来

第25回 “こころ”とは何か?

協同ふじさきクリニック 所長 桑島 政臣

さて、これから一年間、「こころ」とは何か?について考えてみようと思いませんか。われわれ人間(生物)は「物質」→「生命」→「精神(こころ)」と進化・発展して今日に至っています。この発展は、これまで

に人間が得た知識(物理や化学など)で説明が可能と考えられています。しかし残念ながら、各段階の解明には現在でも大きな壁があります。とくに進化の過程で生命にどのような精神(こころ)が宿ったのか、受精卵から大人になる過程(個体発生)で精神(こころ)はどのようにして発達するのかについての解明に多くの研究者が挑んでいます。まだまだ道半ばです。

このシリーズの第6回で『生気論と機械論』という考え方に触れました。生命は複雑な機械ではあるが、物理現象や化学現象で説明できると考えるのが「機械論」で、生命は機械としては説明できない性質を持っているとするのが「生気論」です。17世紀になると、哲学者・数学者であるデカルトは、動物も植物も機械と同じであるとの説を発表しました。そして彼は、動物は魂を持たないゼンマイをまいた自動機械(オートマ

タ)であり、魂は人間のみに存在するとなりました(1637年)。またデカルトはこころから(身体)は別であると考へ、これは「デカルトの心身二元論」ともいわれています。その後、メトリは『人間機械論』(1747年)において人間の靈魂をも否定し、完全な人間機械論を唱えました。

次回から、『意識』、『精神』、『記憶』、『こころ(心)』、『クオリア』などに触れながらこの問題を整理してみたいと思っています。

読者の広場



外に出なきや

川崎区 横山ユウ子
ウォークラリーを少し
やったり、ちよこつとウ
オークで公園をのんびり
歩いたりしています。桜
の葉の紅葉の上からイチ
ヨウの黄色が見えたり、
バッタがぴよんぴよん跳
ねたり、男の人が尺八を
吹いていたり、家の中じ
や感じられない目に耳に
この風景。やっぱり外に
出なきやと思いました。

2割負担に驚き

宮前区 佐藤 寛(85)
10月から後期高齢者医
療の窓口負担が2割にア
ップしました。通知を受
けたときは、仕方ないな
と半ばあきらめていまし
たが、実際に窓口で医療
費を支払った際、その負
担の大きさにびっくりで
す。私たちの生活の苦し
さを、首相の「聞く力」



さびしいな「女闘士」の墓石無し
見切り品買うのもエコと胸を張り
奥さんに家賃を払う総務省
電気ガス寒さ我慢で節約し
運動会応援家族一人だけ
コロナ禍は寄せては返す波の様
病院の窓からながめた天体ショー
歳重ね体の痛みは年輪か
熱中もコロナもかわして風は秋
八百万神や仏の初詣出

みなさんからの
オリジナル川柳を
おまちしています
編集部より
ひとつこと
フードロス、SDGsの観
点からも堂々と見切り品を買
っていいですね、梅山さん。

家族で参加

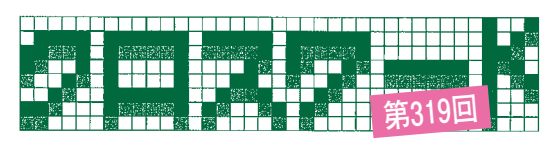
川崎区 小笠原あゆみ(7)
先口、大師地域の「多
摩川健康ウォーキング」
に参加しました。当日は
天気もよく車椅子で参加
の母も久しぶりの多摩川
散歩を喜んでいました。
孫は途中からお腹が鳴り
出し完走後のお弁当(コ
ッぱりね)などを笑った
り一緒に怒ったりしてい
ます。

漫画が楽しみ

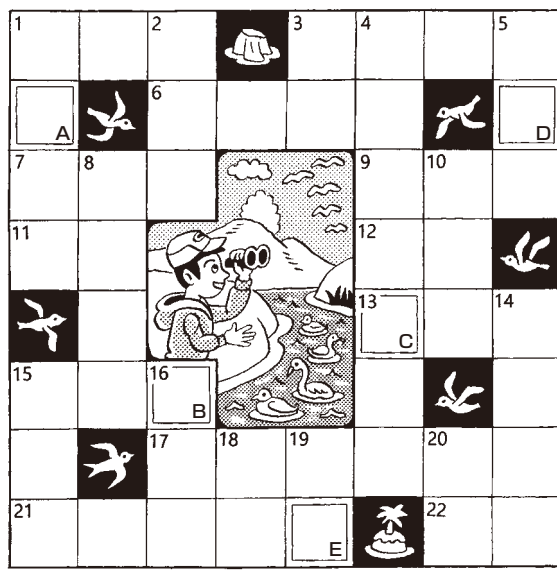
麻生区 渡辺 蓉子(7)
医療生協の新聞の4コ
マ漫画を毎回楽しみにし
ています。11月号は17
3回。おたふく氏の漫画
はその時々々の世相を反映
したものが多く、自分で
も「ウンそうだよ」「や
きました。また歩きたい
です。」

また歩きたい

宮前区 石渡 恵子(69)
こんな川崎、これも川崎
で紹介された「長尾の里め
ぐり」。膝の痛みで歩くこ
とをためらってしまう日々
ですが、元気な頃は妙薬寺
等覚院までお花の季節に歩
きました。また歩きたいで
す。



《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの5文字をうまく並べてできる言葉は？



メールでの送付先 machizukuri@kawaikyo.or.jp

- ③ アフリカにすむ偶蹄類
- ④ 童話劇「青い鳥」の作者でノーベル文学賞も受賞
- ⑤ 教え導くこと。受験期を前に進学○○○
- ⑧ カッコいいと言われる男性
- ⑩ ウスター、とんかつ、デミグラスといえは
- ⑭ 映画「カサブランカ」で有名に。○○○○コート
- ⑮ 小説家のこと
- ⑯ 茶室、柔道といえは
- ⑰ 地下水を汲み上げます1949年に発行された有名な記念切手「月に○○」
- ⑳ ○○○米、○○服、学○
- ⑪ 判断
- ⑫ 白・黒・茶色のネコ
- ⑬ 小麦粉をバターで炒めた物。カレーの○○。
- ⑭ シチューの○○
- ⑮ 一覧表ブラック○○○
- ⑯ クリスマスに来てくれた？愛称は○○○さん
- ⑰ 多角形の隣り合わない二つの頂点を結ぶ線
- ⑱ 屋根の上にある風向きを見る
- ⑳ 輪島や函館が有名。朝

① 鳴いてほしくな
い。○○○鳥
② 「樵家」と書く虫
③ 表現が大き。○○○
○な人
④ ○○○整頓、交通○○
⑤ ○、身辺○○○
⑥ 手のしわを見て運勢を

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑
① 白・黒・茶色のネコ
② 小麦粉をバターで炒めた物。カレーの○○。
③ シチューの○○
④ 一覧表ブラック○○○
⑤ クリスマスに来てくれた？愛称は○○○さん
⑥ 多角形の隣り合わない二つの頂点を結ぶ線
⑦ スケート、フ
⑧ ラップに関連
⑨ 屋根の上にある風向きを見る
⑩ 輪島や函館が有名。朝

⑪ 判断
⑫ 白・黒・茶色のネコ
⑬ 小麦粉をバターで炒めた物。カレーの○○。
⑭ シチューの○○
⑮ 一覧表ブラック○○○
⑯ クリスマスに来てくれた？愛称は○○○さん
⑰ 多角形の隣り合わない二つの頂点を結ぶ線
⑱ スケート、フ
⑲ ラップに関連
⑳ 屋根の上にある風向きを見る
㉑ 輪島や函館が有名。朝

11月号の答えは「オンガクカイ」でした。応募者は213人(正解は205人)。正解者の内訳は川崎区99人・幸区10人・中原区14人・高津区16人・宮前区6人・多摩区27人・麻生区27人・市外6人です。

編集委員会で抽選の結果、当選者には図書カードをお送りしました。

高橋 芳男 (川崎区)	宮久美子 (川崎区)	平間 和夫 (幸区)	菊池 結貴子 (中原区)	梶山 衣江 (高津区)	鈴木 晶子 (高津区)	本多 千代子 (宮前区)	山田 富子 (多摩区)	手塚 登美子 (多摩区)	平木 市子 (麻生区)
内田 久男 (川崎区)	村田 みどり (川崎区)	山本 かほる (川崎区)	高橋 佳子 (川崎区)	村橋 隆子 (川崎区)	嵐田 孝子 (川崎区)	石井 美千子 (川崎区)	田口 正幸 (川崎区)		

小林通子 (麻生区) <敬省略>
今年もよろしく
お願いいたします
応募要項
パズルの答えと川柳は、ハガキで左記までお送り下さい。郵便番号、住所、氏名、電話番号とよろしければ年齢を記入して下さい。メールでの応募もお待ちしています。送付先のアドレスは解答枠の下をご覧ください。
アドレスが変更になっ
ています。お気をつけ下さい。医療生協新聞への感想や近況を余白に記入していただければ幸いです。
なお、川柳はひとり、一句、既に発表済みのものは遠慮下さい。
正解者の中から抽選で30人に図書カードをお贈りします(連続10回当選しなかつた方にも贈呈します)。締切りは1月25日、発表は3月号紙面に掲載します。
<送り先>
〒210-0804
川崎区藤崎4-21-2
川崎医療生協本部
編集委員会

クロスワードパズルの余白に書かれた「内容」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。



パステル画 (狐の親子)
橘支部 照山恭子



掛け軸 (菜の花)
多摩支部 有田照子



油絵 (冬富士) 宮前支部 後藤佐代美



吊るしびな (振袖ねずみ)
京町支部 大友多美子



ぬいぐるみ
大師フレンド支部 高橋政子



吊るしびな ルーム3色すみれ
左から関和枝、鷺津孝子、
佐藤千代子、八巻黎子、木村英子



ペーパークラフト
藤崎北支部 教室参加者



日本画 (あっ!びっくりはじめて)
多摩支部 大図敬子



絵手紙 南河原支部 伊藤妙子



絵手紙 南河原支部 加藤友子



押し絵 南大師支部 吉田久子



吊るしびな (カルガモの親子)
京町支部 瀧沢由紀子



切り絵 大島支部切り絵教室
藤田洋子

2023年 新春 みんなの 作品展

川崎医療生協の組合員や
読者のみなさんから
寄せられました。